

平成 29 年度
社会福祉法人友愛会 特別養護老人ホームわかくさ事業報告

特別養護老人ホームわかくさ(以下「施設」という。)は、開業から4年目を迎え、より充実した介護サービスを提供するため前年に引続き介護職員の処遇改善を進めてきました。

平成 27 年度から施設の入居要件が原則要介護度 3 以上の方が対象となり、より介護度が高く医療必要度の高い入居者が増加し介護職、看護職ともに業務量が増加しています。

こうした中で、今年度は入居者の状態に合わせた職員配置を常に検討し、対応を行いました。

1. 施設運営の基本理念

施設の運営主体である社会福祉法人友愛会が理念とする「安らぎと温もり」を基本に入居者一人ひとりのご意向を尊重し、施設サービス計画に基づき、入居者の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら入居者が「その人らしく、生き生きと日々を送ること」ができるようお手伝いし、ご家族や地域との連携を大切にし、地域住民のひとりとして生活できるよう努めました。

2. 入居者への対応

施設は入居者の生活の場であることを念頭に置き、集団生活への調和と安全性に配慮しながら、入居者の個性や生活歴を尊重し、出来る限り個別の対応を実施し、穏やかで安定した生活の実現を目指しました。

(1) 介護

介護支援専門員を中心に作成する施設サービス計画書を基にサービスを実施し、その内容については都度、評価と見直しを行いました。

入浴・食事・排泄の介護においても、随時見直しを図りながら、入居者一人ひとりの状態に応じて、安心安全で快適な方法で提供できるよう努力しました。

常に入居者及び家族のご意向を伺い、入居者に今、何が必要かを検討しました。

また、職員一人ひとりが創意工夫し、転倒、ずれ落ちのリスクは高くなりますが、身体拘束をしない介護を目標にサービスを行いました。

施設行事もわかくさ祭りをはじめ、季節ごとにいろいろ実施し大変好評を得ました。

(2) 入居者の健康維持及び保健衛生

配置医師による診察を月 4 回実施し入居者の健康維持に努め、口腔ケア対策や認知症の入居者に対しては精神科医による療養指導を行いました。

また、入居者の定例の健康診断、予防接種のほか、健康状態を常に把握し看護から医師への伝達を密に行い素早い対応を心がけました。

尚、インフルエンザを発症した入居者は 13 名です。

看護の処置内容は点滴対応が延べ 108 回、皮下注射対応が延べ 10 回、インスリン注射対応者が 2 名、血糖測定対応者が 2 名、胃ろう対応者が 2 名、ウロストミー対応者が 1 名、膀胱ろう対応者が 1 名、尿道留置カテーテル対応者が 3 名となっています。

(3) 食事

食事の摂取量や体重の推移に留意し低栄養状態の予防・改善を図りました。

入居者の状況に応じハーフ食(一般の食事量の半分程度)の導入や、栄養補助食品等を使用し対応しました。行事食の実施や季節感のある献立やアンケートによる入居者の嗜好を把握した食事を提供することができました。

また、給食委託会社と連携しノロウイルスや食中毒予防に努めた結果、発生を防ぐことができました。

(4) 事故報告

骨折は 13 件、誤嚥は 1 件、皮膚損傷は 6 件、薬に関係するものは 22 件です。

原因としては、入居者の重度化、高齢化により、転倒、ずり落ち、皮膚損傷等になりやすいことや、飲み込む力が弱くなり、薬の吐き出しが多くなったこと、また、服薬を拒否する入居者も散見されます。ただ、飲ませ忘れや時間の間違い等の、確認不足もあったため、緊急に2月、3月の2ヶ月間をかけた全ての介護職員に徹底的に服薬研修を行いました。

3. 看取り介護の実施

看取り介護の指針に基づき看取り介護を実施し、4名の入居者がご逝去されました。

4. 職員の資質の向上

研修実施回数 33 回 延参加者 562 名です。

内訳は下記のとおり。

日付	研修内容	場所	主催	人数
4/3～4/5	新人研修	施設	わかくさ	4名
4/26	仏ツ研修	〃	エ・チャム(株)	25名
5/29	登別市市議会議員研修会	登別市	登別市	1名
6/12～6/13	新人研修	施設	わかくさ	1名
6/14	アクション研修(指導者講習)	札幌市	北海道社会福祉協議会	1名
5/23～5/18	アクション研修：講義(2号)	札幌市	北海道社会福祉協議会	1名
6/19	生活リハビリ研修	〃	お茶の水ケアサービス学院	1名
6/23	地域連携から地域統合へ向けて	室蘭市	西胆振地域医療連携	1名
6/30	緊急時対応研修	施設	わかくさ	8名
7/11～7/12	新人研修	施設	わかくさ	1名
7/14	普通救命講習 I	施設	わかくさ	16名
7/18	普通救命講習 I	施設	わかくさ	20名
8/28	服薬研修	施設	わかくさ	5名
8/29	服薬研修	施設	わかくさ	8名
8/30	服薬研修	施設	わかくさ	13名
8/31	服薬研修	施設	わかくさ	23名
9/25～9/26	新人研修	施設	わかくさ	1名
9/26	転倒・骨折 事故防止対策セミナー	室蘭市	あいおいニッセイ同和損保	2名
11/1～11/2	新人研修	施設	わかくさ	1名
12/1	高齢者虐待防止の基本研修	施設	わかくさ	8名
12/5	高齢者入浴アドバイザーサポートセミナー	登別市	登別国際観光コンベンション協会	6名
12/14	北海道身体拘束廃止推進研修会	室蘭市	北海道社会福祉協議会	1名
12/16	介護職員のための看取り研修会	室蘭市	西胆振保健医療福祉圏会議	2名
1/17	スネット開設記念公演会	室蘭市	公益社団法人室蘭市医師会	1名
1/26	脳卒中治療を早期に行うためには	室蘭市	市立室蘭総合病院	2名
1/31	介護事故に関する研修会	施設	わかくさ	49名
2/11～3/31	服薬研修	施設	わかくさ	324名
2/14	のぼりべつ他職種連携セミナー	室蘭市	登別市ケア連絡会	2名
2/16	地域連携から地域統合へ向けて	室蘭市	西胆振地域医療連携	1名
2/19	管理・監督職養成研修 1	施設	わかくさ	16名
3/19	管理・監督職養成研修 2	施設	わかくさ	15名
3/21	高齢者の食支援セミナー	室蘭市	室蘭保健所	1名
3/26	医療安全管理研修会	室蘭市	室蘭市医師会	1名

実習・体験 7回 延参加者 21名

日付	内容	学校・団体等	人数
6/6	施設体験	三幸福祉カレッジ	6名
7/26	施設実習	三幸福祉カレッジ	1名
8/22～9/15	施設実習	三幸福祉カレッジ	1名
8/29～8/31	インターシップ	海星学院高等学校	4名
9/27～10/31	施設実習	北海道福祉教育専門学校	2名
11/16	施設体験	登別市緑陽中学校	3名
2/21～3/6	施設実習	北海道福祉教育専門学校	4名

5. その他

職員の状況

期末在籍人員は69名です。

内訳は介護職員55名、その他14名。

苦情等

苦情9件、要望・意見24件、相談66件。

苦情の内容は職員の対応についてが主で、言葉遣い、居室の清掃、迅速な家族連絡、職員間の伝達不足解消等が求められました。

毎月開催する苦情・相談委員会で苦情内容を検証し、関連各部署と連携を密にし改善に努めました。

また、5月と12月に開催した「第三者委員会」において報告し助言を受けました。

行事・ボランティア

季節や入居者の要望により13回の施設行事を実施しました。

また、ボランティアによる催しも各月実施しました。

内容は下記のとおり。

月	行事内容	ボランティア状況
4月	3・4・5日 お楽しみ昼食会（鍋会）	13日 わかくさ歌の会 6・20日 手芸
5月	7日 映画上映会（エット行事） 15日～19日 お花見ドライブ	11日 わかくさ歌の会 4・8日 手芸 21日 サクパル サックス演奏
6月	23日 カラオケ大会（エット行事） 28日 おやつ会（パフェ）	8日 わかくさ歌の会 1・15日 手芸
7月	27・28日 花火大会	13日 わかくさ歌の会 6・20日 手芸 31日 鷺別中学校 ギターマン ドリン部演奏会
8月	20日 わかくさ祭り	10日 わかくさ歌の会 3・17日 手芸
9月	10日 ビアガーデン（敬老会表彰式） 25日～29日 お楽しみ昼食会（ジンギスカン）	7日 わかくさ歌の会 7・21日 手芸 10日 サクパル サックス演奏
10月	17日 おやつ会（焼き芋）	12日 わかくさ歌の会 5・19日 手芸

月	行 事 内 容	ボランティア状況
11月	17日 お楽しみ昼食会(寿司)	9日 わかくさ歌の会 2・16日 手芸
12月		7日 わかくさ歌の会 7・21日 手芸
1月		11日 わかくさ歌の会 4・18日 手芸 26日 三弦光 三味線・歌
2月	2日 節分(豆まき)	8日 わかくさ歌の会 1・15日 手芸 10日 澄れ会 歌・踊り
3月	3日 ひな祭り 茶話会 25日 柳家三之助 落語会	8日 わかくさ歌の会 1・15日 手芸 11日 室蘭市立東明中合唱部 31日 山崎歌謡教室

ボランティアの内容は、3名の傾聴ボランティアが延99回、延146名の入居者に対し行われ、紙芝居・手芸ボランティアは各1名で、紙芝居は4回・手芸は24回、行われました。
わかくさ歌の会による合唱や、リオンの会による入居者の誘導のほか、各種の演奏会も行われました。
また、わかくさ祭りの準備・手伝い等を、学生ボランティアにお願いしました。

韓国からの視察の受入

4月13日に32名と9月20日に18名の視察を受入れました。
多目的ホールで施設の運営状況等の説明、質疑応答の後、施設内の見学を行いました。

地域交流

若草第二町内会の清掃業務・資源回収等に協力しました。
登別市社会福祉協議会の鍵預りサービス事業に協力し、近隣住民の住宅の鍵を4件預かっています。
登別市地域包括支援センターけいあいが実施する「ミナカフェ」に開催場所を提供し、ミナカフェ開催は年23回で、地域住民及び当施設入居者をあわせ、参加者は述べ321名と報告を受けています。

平成29年度事業報告には「社会福祉法施行規則」第2条の25第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上